

平成28年度 小・中学校における環境教育の取組み

教科名 道徳（第2学年）

テーマ【人間の力を超えたもの】

貝塚市立第四中学校

《学習のねらい》

- ・人間の一生とは比べものにならないほどの何千年・何万年という時間の中で生まれる自然の雄大さや美しさ、神秘性を知ることを通して、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深め、それを後世に引き継いでいこうとする道徳的実践意欲を高めるとともに、自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。

《学習の流れ》

実施日 11月6日（木） 体育館における一斉授業

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ①屋久島の地理的特徴について | ⑦屋久島の現状と課題について知る |
| ②世界自然遺産としての屋久島 | ⑧屋久島ルールについて |
| ③「樹齢七千年の杉」を読む | ⑨実際に縄文杉に会いに行った教師から体験談と |
| ④屋久杉について知る | 「山に入らせていただく」「次世代につなぐ」と |
| ⑤7000年の歴史を年表を使ってさかのぼる | いう心構えについて |
| ⑥縄文杉の根周り、幹周りをメジャーを使って | ⑩屋久島のビデオ鑑賞 |
| 輪にして、大きさを体感する | |

《指導のポイント》

- 人の力を超えた自然の雄大さを感じとらせる
- この自然はこのまま続いていくものではなく、人によって破壊もされるが、人によって守り残していけるものであることをおさえる。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- 「樹齢七千年の杉」 出典：命ということ心ということ 椋 鳩十
- DVD「日本の秘境～知られざる秘境と原風景をたどる旅～」

《成果（児童・生徒の感想や反応 等）》

- ・実際の大きさをメジャーで示し、その中に生徒達が入る形にした時に、歓声や驚きの声が上がった。
- ・年表で示す際、巻物状の年表を開いても開いても、縄文杉の発芽の年にたどり着けず、生徒は興味を持つとともに、その偉大さも感じていた。
- ・実際に縄文杉に会いに行った教師が話すことで、より興味を持たせられたと思う。その教師も、数年前にこの授業に参加したことで、屋久島に行ってみたいと思い、行動したということで、生徒にも同様の効果があると思われる。
- ・自然の偉大さを体感することで、自然環境を大切にしていこうとする雰囲気も感じとれた。